



高木瀬小学校 学校だより

第16号
R8.3.24 発行
文責:橋口

「卒業式は私たちのものだ」



3月13日(金)、卒業式を挙行了しました。今年は、教職員主導の計画から脱却し、子どもたちが「自分たちの卒業式」を創り上げるための様々な改革に挑戦しました。

改革にあたっては、代表者だけでなく全員の合意形成を大切にする事、内容の変更については関係者(5年生や教職員)へ丁寧に説明することなど、教員の伴走支援のもと、一つひとつのプロセスを自分たちの手で踏み進めてきました。

その過程も当日も、実に見事なものでした。大人の想像を超えた子どもたちの願いや思い、それを形にしようと思し行動する姿に、高木瀬小6年生が持つ本来のポテンシャルを強く感じました。大人が子どもの思いを尊重することで、子ども自身が「自分は大切にされている」「人生の主人公である」と実感し、持てる能力を最大限に発揮できるのだと改めて確信しました。

学校サポーターや来賓の皆様からも「良い式でした」とのお言葉をいただき、その価値を共有できたことは大きな喜びです。6年生が残してくれたこの成果を糧に、本校のベクトルは確実に「希望」へと向いています。

1～4年生の学校サポーターの皆様へ

卒業式前日の3月12日(木)には、1～4年生と6年生による「お別れ式」を行いました。子どもたちは真剣な面持ちで式に臨み、会場は大変厳かな雰囲気になりました。

私からは、プール掃除や委員会の当番活動などを例に挙げ、「6年生が皆さんの学校生活を、見えないところで支えてくれたんだよ」と話をしました。1～4年生と6年生の双方から「お別れの言葉」や歌のプレゼントがあり、それぞれが最後の一時をしっかりと噛み締めているようでした。

今年度も、高木瀬小の豊かな学校文化が着実に継承されたと実感しています。

なお、卒業式当日は会場の都合により、1～4年生は家庭学習となりました。ご家庭には多大なるご負担をおかけしましたが、温かいご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。



嬉しい声「1・2・4年生だって頑張っています！」

前号の学校だよりで「主体的な子どもたちの姿」として3・5・6年生の事例を紹介したところ、他学年の担任からも「校長先生!うちの学年もこんなに頑張っていますよ」と、熱のこもったPRを受けました。「紙面の都合で一度に全学年を紹介できず申し訳ない」と嬉しい悲鳴を上げながらも、自慢の子どもたちを語る先生方をとても頼もしく、誇りに思いました。

子どもたちは、大人が指示をすればその通りに上手に動くことができます。その方が効率も良く、見栄えも整うかもしれません。

しかし、本校の教職員は、目指す子ども像を常に念頭に置いています。あえて時間がかかり、一見遠回りに見えるプロセスであっても、発達段階に応じて「自分で考え、決め、行動する」姿を粘り強く伴走支援しています。

これからも私たちは、子どもたちの「今」と「未来」を本気で考え、学校改革を前進させてまいります。



学年末学級懇談会へのご出席をありがとうございました

3月18日(水)の学年末懇談会は、「来て良かった」と感じていただきたい一心で、子どもたちの生き生きとした姿を映像で共有したり、一人ひとりの歩みを振り返る資料をご用意したりしました。

帰り際、多くの皆様から「ありがとうございました」と笑顔でお声がけいただき、大変恐縮しました。もったいない言葉に頭が下がります。こちらこそ、お忙しい中、ご来校くださり、ありがとうございました。

この「つながり」を、ぜひ次年度へも引き継いでいきたいと考えています。

来年度第1回目の懇談会(5月1日(金)予定)では、保護者の皆様同士が楽しく交流できるような仕掛けも考えています。充実した懇談会になるよう工夫しますので、どうぞご参加くださいますようお願いいたします。

通知表についてお子さんとお話されるときに・・・



本日、お子さんへ通知表をお渡しています。「良かったと思うところ」や「うまくいかなかったこと」についてお子さんとお話(詰問や説教ではなく)をしてみてください。本人ががんばったと思うことは、出来はどうであれ、その努力を心から賞賛し、うまくいかなかったと思っていることは、どうしたら良くなると思うのかを本人に考えさせ、解決のお手伝いをお願いします。

通知表は、成長途中の子ども達にとっては次へと繋げてこそ意味のあるものです。これから、「こういうことにチャレンジしよう」「こんなところを伸ばしていこう」「ここはもっとがんばろう」と思えるような「励ましの言葉」をかけていただきたいと願っています。(本校の保護者さんにはいらっしやらないと思いますが…)間違っても「よくできた」の数だけで子どもたちの学びを評価されないようにお願いします。悪い評価を取り上げて叱責するだけでは、今後に向けた意欲は生まれません。

子ども達は、どの子も「がんばりたい」「褒められたい」「良くなりたい」と思っています。「やればできるよ」「きつと今度こそ、うまくいくよ」「失敗は成功の元」「〇〇ちゃんなら、できる」のメッセージが通知表を意味あるものにします。

子ども達の可能性は無敵大であると心からそう思います。だからこそ、温かい言葉とまなざしのシャワーで、子ども達の心のエネルギーを満たし、自ら伸びていこうとする力を応援したいと思っています。

***** **連 絡** *****

※来年度、ご提出いただく書類(家庭調査票・健康調査票・フツ素洗口希望書 etc)などを茶封筒に入れて配布しています。保護者の皆様にご記入いただく期間を長くとるためです。

必要部分にご記入の上、**4月7日(火)**に持たせてください。学級・番号は、空けたままで結構です。よろしくお祈りいたします。

※春休み中に転出や転入が分かりましたら、新年度の学級数に影響する学年もありますので、早めに学校までご連絡をお願いします。

今年度の学校運営にご理解とご協力をありがとうございました

学校サポーターや地域の皆様のおかげで無事に今年度を終えることができました。ことあるごとに、たくさんの応援の声をいただきました。一方、至らなかったことも多々あり、ご指摘やご意見もいただきましたが、いずれも本校を思っただことだと真摯に受け止め、心から感謝しています。

学校と地域・保護者は子どもを真ん中においた両輪です。同じ方向を向き、同じ速度で進まない真ん中の子どもたちは前に進むどころか、心や身体が引き裂かれるような苦しい思いをさせていただきます。

来年度も全ての子どもが自分の人生をしなやかに生きぬくことができる力をつける教育を進めてまいりますので、より良い学校づくりに向けて、来年度もどうぞお力添えいただきますようお願いいたします。

